

# 通夜・葬儀ミサ・告別式

大分教区名誉司教

ペトロ平山高明

日時 通夜 2023年7月17日 18:30

葬儀ミサ 2023年7月18日 11:00

場所 カトリック大分教会（大分司教座聖堂）

カトリック大分司教区



## I 通夜

**先唱** ただ今より大分教区名誉司教 ペトロ平山高明司教様の通夜を行います。  
皆さんお立ちください。

**聖歌** カトリック聖歌集 658 「主よみもとに」 P. 13

### 招きのことば

**司教** 親しい人との別れは、だれにとっても悲しいことです。しかし信仰によって誠実に生涯を終え、その魂を神のみ手にゆだねられたペトロ平山高明司教様は、今、この世の苦しみから栄光と喜びに満ちた神のもとに呼ばれ、キリストとともに永遠に生きる者となられたのです。キリストは、「わたしは復活であり、いのちである。わたしを信じる者はたとえ死んでも生きる」と教えられました。別離の悲しみのうちにも私たちは、このキリストのことばに慰めと希望を見出します。キリストとともにあるペトロ平山高明司教様をしのびながら、聖書のことばを聞きましょう。

**使徒パウロのコリントの教会への手紙** (Ⅱコリント 5章 1～6a)

〔皆さん、〕わたしたちの地上の住みかである幕屋が滅びても、神によって建物が備えられていることを、わたしたちは知っています。人の手で造られたものではない天にある永遠の住みかです。わたしたちは、天から与えられる住みかを上に着たいと切に願って、この地上の幕屋にあって苦しみもだえています。それを脱いでも、わたしたちは裸のままではおりません。この幕屋に住むわたしたちは重荷を負ってうめいておりますが、それは、地上の住みかを脱ぎ捨てたいからではありません。死ぬはずのものが命に飲み込まれてしまうために、天から与えられる住みかを上に着たいからです。わたしたちを、このようになるのにふさわしい者としてくださったのは、神です。神は、その保証として” 霊” を与えてくださったのです。それで、わたしたちはいつも心強いのです。

### 説教

#### ともに祈る

(1)

**司教** 聖書の初めに次のように記されています。

**創世記** (創世記 1章 1-4a, 26-27)

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。神は光を見て良しとされた。神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」神は御自分にかたどって人を創

造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。

聖歌 典礼聖歌 69 「神よあなたのいぶきを」 P. 14

司教 祈りましょう。

天地万物のつくり主である神よ、あなたは永遠の愛でわたしたちを包み  
ご自分にかたどってわたしたちをつくってくださいました。

みもとに召されたペトロ平山高明司教が神を仰ぎ見ることができますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

(2)

司教 全能の神は、御自分の似姿につくられた人間を永遠の住みかに住まわせるために、  
御子キリストを遣わしてくださいました。聖書にこう教えられています。

ヨハネによる福音 (ヨハネ 3 章 16-17)

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じるものが一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

聖歌 典礼聖歌 46 「神の注がれる目は」 P. 14

司教 祈りましょう。

すべての人の救いの源である神よ、あなたはひとり子を与えるほどわたしたちを  
愛してくださいました。地上の生涯を終えたペトロ平山高明司教に、あなたの国の  
平和と栄光をお与えください。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

(3)

司教 神の子キリストが、十字架の上でいのちをささげてくださいましたとき、聖母マリアは  
十字架のもとに立って、御子の死の苦しみをともにされました。そのとき、  
キリストは聖母マリアをわたしたちの母として与えてくださいました。  
ヨハネの福音に次のように記されています。

ヨハネによる福音 (ヨハネ 19 章 17-18a, 25-27)

イエスは、自ら十字架を背負い、いわゆる「されこうべの場所」、すなわちヘブライ語で  
ゴルゴタという所へ向かわれた。そこで、彼らはイエスを十字架につけた。イエスの十字架  
のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。イ  
エスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなた  
の子です」と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのとき  
から、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。

聖歌 典礼聖歌 53 「神のはからいは」 P. 15

司教 祈りましょう。

神よ、あなたの御子キリストは、人となった聖母マリアから生まれ、罪を除いてはわたしたちと同じになってくださいました。御子の悲しみと苦しみをともにし、十字架の丘までともに歩まれた聖母マリアの取り次ぎによって、ペトロ平山高明司教に救い主の慰めをお与え下さい。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

(4)

司教 死に打ち勝って復活された神の子キリストは、神である父のそばで人々のためにとりなしてくださり、終わりの日、すべての人を復活させてくださいます。そのとき、すべては新たにされ、わたしたちも神のもとで、もはや別離の悲しみもなく、永遠に生きるのです。

聖書の終わりに次のように記されています。

ヨハネの黙示 (黙示録 21 章 1a, 3-4b, 5a)

わたし〔ヨハネ〕はまた、新しい天と新しい地を見た。そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってください。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。」すると、玉座に座っておられる方が、「見よ、わたしは万物を新しくする」と言われた。

聖歌 典礼聖歌 65 「神はわたしを救われる」 P. 15

司教 祈りましょう。(沈黙)

すべての慰めの源である神よ、あなたは永遠の愛をもってわたしたちを包み、死の暗闇をいのちの夜明けに変えてくださいます。悲しみに沈むあなたの家族を顧みてください。あなたの子キリストは、ご自分の死をもってわたしたちの死を打ち砕き、復活をもってわたしたちにいのちをお与えになりました。わたしたちもキリストの恵みに支えられて希望に生き、人生の旅路の後、再び兄弟とまみえ、すべての涙がぬぐわれますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

献香は司式者、献花は司祭団、ご遺族、一般参列者の順でお願いします。

献香と献花 カトリック聖歌集 442 「やさしきみ母」 P. 16

カトリック聖歌集 656 「主にまかせよ」 P. 16

司教 皆さん、人の体は神によってつくられ、神の栄光をあらわしています。  
わたしたちの祈りと願いがこの香の煙のように、天の父のもとまで  
届くよう祈りましょう。

### 結びの祈り

司教 祈りましょう。

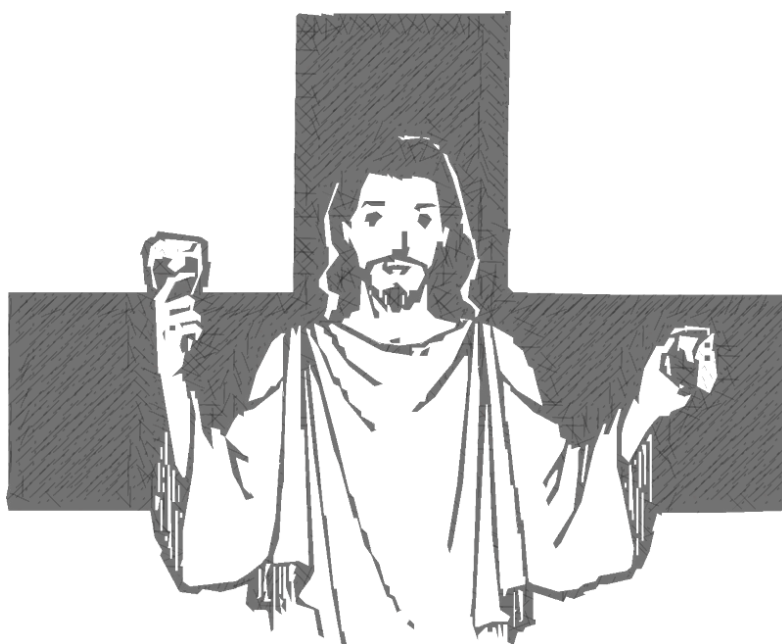
全能の神よ、この世からあなたのもとにお召しになった司教ペトロ平山高明を  
心に留めてください。洗礼と叙階の秘跡によってキリストの死に結ばれた者が、  
その復活にも結ばれることができますように。あなたは死者を復活させるとき、  
わたしたちの体を栄光の姿に変えてくださいます。み旨に従って今この世を去った  
司教ペトロ平山高明をあなたの国に迎え入れてください。わたしたちもいつか  
その国でいつまでもあなたの栄光にあずかり、喜びに満たされますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

### 遺族代表のあいさつ

これを持ちまして大分教区司教 ペトロ平山高明司教様の通夜を終わります。

明日の葬儀ミサと告別式は午前11時から本日より同じ大分司教座聖堂であるカトリック大分  
教会で行われます。お帰りの際は夜道に十分お気をつけてくださいますようご案内申し上げ  
ます。本日はペトロ平山高明司教様の通夜へのご参列まことにありがとうございました。



## Ⅱ 葬 儀 ミ サ

入祭 ただいまより、大分教区前司教 ペトロ平山高明司教様の葬儀ミサを行います。  
皆さん、ご起立ください。

カトリック聖歌集 658 「主よみもとに」 P. 13

司教 父と子と聖霊のみ名によって。

一同 アーメン

招きのことば

集会祈願

司教 救いの源である神よ、あなたはペトロ平山高明を司教に選び、使徒の後継者として  
くださいました。生涯を神の民への奉仕にささげた者が、使徒たちとともに、永遠の  
報いを受けることができますように。

聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々としえに生き、  
治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

### ことばの典礼

第一朗読

使徒パウロのローマの教会への手紙 (ローマ 14 章 7-9, 10c-11)

〔皆さん、〕わたしたちの中には、だれ一人自分のために生きる人はなく、だれ一人自分のために死ぬ人もいません。わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものです。キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです。わたしたちは皆、神の裁きの座の前に立つのです。こう書いてあります。「主は言われる。『わたしは生きている。すべてのひざはわたしの前にかがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と。」

朗読者 神のみことば

一同 神に感謝

答唱詩編 典礼聖歌 123 「主はわれらの牧者」 P. 17

アレルヤ唱 典礼聖歌 275 ① P. 17

## 福音朗読

マタイによる福音 (マタイ 11 章 25-30)

そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに子を知る者はなく、子と、子が示そうと思う者のほかには、父を知る者はいません。疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

司祭 主のみことば  
一同 キリストに賛美

## 説教

### 共同祈願

司教 新しい人類のかしらとして、わたしたちに先立って復活された主キリストを信頼して、父である神に祈りましょう。

先唱 叙階によって使徒の後継者に選ばれたペトロ平山高明司教様が、諸聖人の集いに迎えられ、神の国の喜びにあずかることができますように。(司祭団代表)

一同 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

先唱 生涯を神への信仰に生きたペトロ平山高明司教様に、人間の弱さに基づく、すべての罪をゆるし、永遠の救いを与えてくださいますように。(遺族代表)

一同 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

先唱 司牧者として、大分教区の信者を導いてくださったペトロ平山高明司教様に、永遠のやすらぎを与えてくださいますように。(信徒代表)

一同 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

先唱 神の国の建設のために生涯をかけて奉仕したペトロ平山高明司教様に、永遠の報いを与えてくださいますように。(修道女連盟代表)

一同 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

司教 わたしたちの希望である父よ、あなたは信頼する者をいつも助けてくださいます。あなたが愛された者の死を顧み、その生涯をささげものとして受け入れてください。御子キリストのうちにあって復活の栄光にあずからせてくださいますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。



## 感謝の典礼

### 奉 納

#### 奉納祈願

司教 聖なる父よ、

司教ペトロ平山高明のために、この供えものをささげて祈ります。大祭司キリストに結ばれた者が、諸聖人とともに、永遠にあなたの栄光をたたえることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

#### 奉献文

司教 主は皆さんとともに。

一同 またあなたとともに。

司教 心をこめて

一同 神を仰ぎ、

司教 賛美と感謝をささげましょう

一同 それはとうとい大切な務めです。

#### 叙唱 (二) キリストの死は万人の救い

司教 聖なる父、全能永遠の神、すべてを治められるあなたをたたえ、感謝をささげることは、まことにとうといせつな務めです。キリストはわたしたちを永遠の死から救うために十字架の上でいのちをささげ、一人の死によってすべての人に永遠のいのちが与えられました。あなたの救いのわざをたたえる天使、聖人とともに、わたしたちもつつしんでほめ歌います。

### 608 ミサ曲A 感謝の賛歌 (サンクトゥス)

Kyrie IX参照  
詞・曲 CBCJ

せいなる、せいなる、せいなる一かみ、すべてを  
おさ一める一かみな一る主。主のえいこうはてん地に満つ。  
てんにはかみにホザーーナ。主の名によって来られるかたにさ一んび。  
てんにはかみにホザーーナ。

## 第二奉献文

司教 まことに聖なる神、すべての聖性の源である父よ、  
いま聖霊を注ぎ、この供えものを聖なるものとしてください。  
わたしたちのために、主イエス・キリストの

御からだ + 御血になりますように。

主イエスはすすんで受難に向かう前に、パンを取り、  
感謝をささげ、裂いて、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。

これはあなたがたのために渡される わたしのからだである。」

食事の後に、同じように杯を取り、  
感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。

これはわたしの血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて  
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血である。

これをわたしの記念として行いなさい。」

司教 信仰の神秘。

一同 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。再び来られるときまで。

司教 聖なる父よ、わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、  
み前であなたに奉仕できることを感謝し、いのちのパンと救いの杯をささげます。  
キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが、  
聖霊によって一つに結ばれますように。

司祭①世界に広がるあなたの教会を思い起こし、

教皇フランシスコ、わたしたちの司教スルピス森山信三、

すべての奉仕者ととともに、あなたの民をまことの愛で満たしてください。

司教 この世からあなたのもとにお召しになった司教ペトロ平山高明を

心に留めてください。洗礼（と叙階）によってキリストの死に結ばれた者が、  
その復活にも結ばれますように。

司祭②また、復活の希望を持って眠りについたわたしたちの兄弟姉妹と

あなたのいつくしみのうちに亡くなったすべての人を心に留め、  
あなたの光の中に受け入れてください。

いま、ここに集うわたしたちをあわれみ、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、  
使徒とすべての時代の聖人とともに永遠のいのちにあずからせてください。

御子イエス・キリストを通して あなたをほめたたえることができますように。

司教 キリストによって キリストとともに キリストのうちに、  
聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、  
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで、  
一同 アーメン。

### 交わりの儀

#### 主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。  
み国が来ますように。みこころが天に行われるとおりに 地にも行われますように。  
わたしたちの日ごとの糧を 今日もお与えください。  
わたしたちの罪を おゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。  
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

司教 いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い世界に平和をお与えください。  
あなたのあわれみに支えられて、罪から解放され、すべての困難にうち勝つことが  
できますように。  
わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。  
一同 国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。

司教 主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。  
「わたしは平和を残し、わたしの平和をあなたがたに与える。」  
主よ、わたしたちの罪ではなく教会の信仰を顧み、  
おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。  
あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々とこしえに。  
一同 アーメン。

#### 平和のあいさつ

司教 主の平和がいつも皆さんとともに。  
一同 またあなたとともに。

### 609 ミサ曲A 平和の賛歌（アニュス・デイ）

Kyriale XVI参照  
詞・曲 CBCJ



世のつみを取り除くかみの小ひつじ、いつくしみをわたしたちに。



世の罪を取り除くかみの小ひつじ、いつくしみをわたしたちに。



世のつみを取り除くかみの小ひつじ、へい和をわたしたちに。

### 拝領前の信仰告白

司教 世の罪を取り除く神の小羊。神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。  
一同 主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。  
おことばをいただだけで救われます。

### 聖体拝領

#### 拝領祈願

司教 祈りましょう。  
全能の、神である父よ、  
キリストの代理者として民を導いた司教ペトロ平山高明が、  
キリストの死と復活にあずかり、天の国に迎えられますように。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。  
一同 アーメン。



### Ⅲ 告別式

#### 招きの祈り

司教 皆さん、ここに故人との告別を行うにあたり、いのちの源である神に信頼をもって祈りましょう。今はただわたしたちの手で葬られていくペトロ平山高明司教が、キリストの復活の力にあずかり、聖人の集いに加えられるように。

#### 灌水・献香

聖歌 カトリック聖歌集 657 「いつくしみふかき」 P. 21

#### 結びの祈り

司教 祈りましょう。

いつくしみ深い父よ、キリストを信じて、この世を去ったペトロ平山高明司教をあなたにゆだねます。わたしたちはキリストのことばに希望と慰めをおき、互いに励まし合い、約束された復活の日、キリストのうちに一つに集まることを心から待ち望みます。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。

弔 辞 (大分教区司祭代表、信徒代表)

弔 電 (代表文のみ紹介)

喪 主 あいさつ (スルピス森山信三司教様)

献 花 献花は、司式者、司祭団、遺族、参列者の順でお願いします。

本日は、ペトロ平山高明名誉司教様の葬儀ミサと告別式へのご参列、まことにありがとうございました。これからも司教様のためにお祈りをよろしくお願い致します。

お帰りの際は十分お気をつけてください。

カ658

主よ みもとに



1. 主 よ み も と に ち か づ かん —  
 2. さ す ら う ま に ひ は く れ —  
 3. 主 の つ か い は み そ ら に —  
 4. め ぎ つ め て の ち ま そ く ら の て —  
 5. う つ し よ を ば は な ら れ て —



の ぼ る み ち は じゅう — じ か に —  
 い し の う え の か — り ね の —  
 か よ う は して の か — え よ り —  
 い し を た てる の か — ぐ み ら を —  
 あ ま が け る ひ き — た ら ば —



あ り と も な ど か な し ひ べ き  
 ゆ め に も な お あ め を の の ぞ り み て  
 ま ね き も な ね ば い め さ の ぼ つ り つ ぞ  
 い よ よ せ ち か く た み も と に つ け ぎ



主 よ み も と に ち — か づ かん — ー かん  
 主 よ み も と に ち — か づ かん — ー  
 主 よ み も と に ち — か づ かん — ー  
 主 よ み も と に ち — か づ かん — ー  
 主 の み か お を あ — お ぎ (みん) —

69

神よ あなたのいぶきを

CL  
TS

♩ = 60 くらい

答唱 か み よ あ な た の い ぶ き を 地 の お も て に

69 詩編 104・1b+24 29+30 31+34 答 30

1. 主なる	か み	あなたはまことに 偉大な	か た
2. あなたがいぶきを	取り去られると	死が訪れて ちに	も どの
3. 神にとわの	栄えあれ	神がみわざを喜ばれます	よ う に

1. あなたは数えきれぬほどの	ものを	英知に満ちて	造られた
2. あなたは霊を送ってすべてを	造り	地上を新たに	くださる
3. わたしの思いが神の喜びとなります	ように	わたしは神を	喜びとする

46

神の注がれる目は

CL  
TS

♩ = 88 くらい

答唱 か み の そ そ が れ る め は か み を お そ れ る も の に か

み の あ い に き ぼ う を お く も の の う え に

詩編 33・4+5 6+11 12+13 14+15 20+21

1. 神のことばは	ただし く	そのわざには	いつわりがな い
2. 天は 神のことばによって	つくら れ	星座は そのいぶきによって	す え ら れ た
3. 神を王として	いた だ く に	神のものとして選ばれた民は	し あ わ せ

1. 神は 正義と公平を	あ い し	いつくしみは 地に	み ち て	い る
2. 神のはからいは	と こ し え	に	みこころの思いは世々に	お よ ぶ
3. 神は 天から目を	そ そ	ぎ	人々をすべて	見 て お ら れ る

## 53

## 神のはからいは

♩ = 63 くらい

CL  
TS

答唱 かみのはからいはかぎりなくしょうがいわたしはそのなかに生きる

詩編 139・1+2 3+4 9+10 13+14 17+18

- |         |      |      |       |    |      |           |        |     |
|---------|------|------|-------|----|------|-----------|--------|-----|
| 1. 神よ   | あなたは | わたしを | こころにか | け  | わたしの | すべてを知って   | おられ    | る   |
| 2. 歩む時も | 休む時も | 見守   | り     |    | わたしの | 行いを       | すべて知って | おられ |
| 5. 神よ   | あなたの | 思いは  | きわめが  | たく | その   | すべてを知ることは | できな    | い   |

- |          |       |      |     |   |      |      |         |       |
|----------|-------|------|-----|---|------|------|---------|-------|
| 1. わたしが  | すわるのも | 立つのも | 知   | り | 遠くから | わたしの | 思いを     | 見とおされ |
| 2. くちびるに | ことばが  | のぼる  | まえに |   | 神よ   | あなたは | すべてを知って | おられ   |
| 5. あなたの  | はからいは | 限り   | なく  |   | 生涯   | わたしは | その中に    | いき    |

## 65

## 神はわたしを救われる

♩ = 72 くらい

CL  
TS

答唱 かみはわたしをすくわれるそのいつくしみをたたえよう

65 詩編 30・2b+4 6 11+12 13

- |         |      |      |    |   |       |        |     |    |
|---------|------|------|----|---|-------|--------|-----|----|
| 1. 神よ   | あなたは | わたしを | 救  | い | 死の力が  | 勝ち誇るのを | 許され | ない |
| 2. 滅びは  | 神の   | 怒りの  | うち | に | いのちは  | 恵みのうちに |     | ある |
| 4. わたしの | 心は   | あなたを | たた | え | 黙っている | ことが    |     | ない |

- |       |      |       |      |      |      |       |     |       |
|-------|------|-------|------|------|------|-------|-----|-------|
| 1. 神よ | あなたは | 死の国から | わたしを | 引きあげ | 危うい  | いのちを  | 助けて | くださった |
| 2. 夜が | 嘆きに  |       | つつ   | まれても | 朝は   | 喜びに   |     | 明けそめる |
| 4. 神よ | わたしの |       | 神よ   |      | あなたを | とこしえに |     | たたえよう |

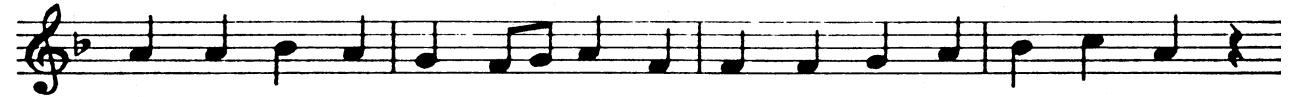


カ442

やさしきみ母



1. やさしきみは—はよいまみそなわし  
 2. くるしきこの—よにきずつきたおれ  
 3. いくしきか—いな のべてみははよ



みくにかにかえ—りしながこをみてに  
 つとめのさな—かによるはきたりて  
 そのめのなみ—だをぬぐいたまえや



いだきむかえて な—ぐ—さめたまえ  
 みくにかにかえる た—ま—をうけませ  
 みははしたいし た—ま—にてあれば

カ656

主にまかせよ



1. 主にまかせよながみを 主はよろこび  
 2. 主にまかせよながみを 主はよろこび



たすけま さん しのびて はるをま—て  
 たすけま さん なやみは つよくと—も



ゆきはとけてはなはさ かん あらしにも  
 みめぐみにはかつをえじまことなる



やみにも ただまかせよなが—み—を ア—ん  
 主のてに ただまかせよなが—み—を

123

## 主はわれらの牧者

CL  
TS

♩=72くらい

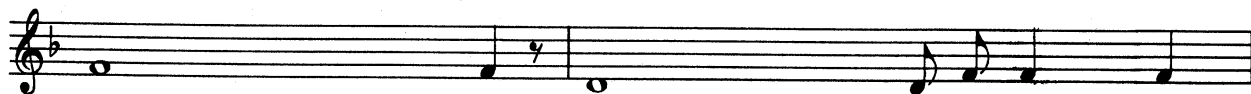


答唱 主はわれらのぼく - しゃ わたしはとぼしいことがない

詩編 23・2+3 4 5 6



- |                  |        |            |      |
|------------------|--------|------------|------|
| 1. 神は わたしを緑のまきばに | 伏させ    | いこいの水辺に    | 伴われる |
| 2. たとえ死の陰の谷を     | 歩んでも   | わたしは わざわいを | 恐れない |
| 3. あなたは はむかう者の   | 前で     | わたしのために会食を | ととのえ |
| 4. 神の恵みと         | いつくしみに | 生涯         | 伴われ  |



神は わたしを	生き返らせ	いつくしみによって正しい道に	み	ち	び	か	れ	る
あなたが わたしとともに	おられ	そのむちとつえはわたしを	ま	も				る
わたしの頭に油を	注ぎ	わたしの杯を	満	た	さ	れ	る	る
わたしは	とこしえに	神の家に	生	き				る

275

死者のためのミサ  
アレルヤ唱

マタイ 11・25

CL  
TS

アレルヤ - アレル - ヤ - 天と地の主である神は  
たたえられますように



あなたは神の国を小さい人々に  
現して下さった アレル - ヤ - アレル - ヤ

## ぶどうの木

## くしきぶどうの木

284 (606)



1. くしきぶどうのきよわが主—イエ—ズス
2. とこしえの—のぞみあたえ—られ—しみ
3. みきにつら—なれるえだな—るわ—れら



つきせぬい—のちをたもううれ—しさ  
よのものをわ—すれててんのみし—とう  
よきみをむ—すびてきみにささ—げん



つきせぬい—のちをたもううれ—しさ  
よのものをわ—すれててんのみし—とう  
よきみをむ—すびてきみにささ—げん

カ442

## やさしきみ母



1. やさしきみは—はよいまみそなわし
2. くるしきこの—よにきずつきたおれ
3. いくしきか—いな のべてみははよ



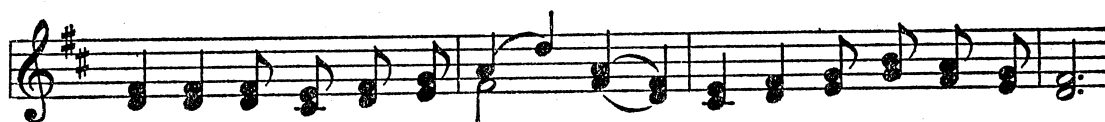
みくにかにかえ—りしながこをみてに  
つとめのさな—かによるはきたりて  
そのめのなみ—だをぬぐいたまえや



いだきむかえて な—ぐ—さめたまえ  
みくにかにかえる た—ま—をうけませ  
みははしたいし た—ま—にてあれば



1. かいぬしわが主 — よ — ま ぶ う わ れ ら を  
 2. よ き と も と な り — て — つ ね に み ち び き  
 3. ゆ る し の み ち か — い — す く い の め ぐ み  
 4. み い つ く し み を — ば — わ れ ら に み た し



わ か く さ の の べ — に — み ち び き た ま え  
 ま よ わ ば た ず ね — て — ひ き か え り ま せ  
 き よ む る ち か ら — は — み な 主 に そ あ る  
 い ま よ り み む ね — を — な さ し め た ま え



わ れ ら を ま も り て や し な い た ま え  
 わ れ ら の い の り を う け い れ た ま え  
 わ れ ら を あ が な い い の ち を た も う  
 わ れ ら を あ わ れ む み め ぐ み ふ か し



わ れ ら は 主 の も の 主 に あ が な わ る アーメン  
 わ れ ら は 主 の も の た だ 主 に た よ る  
 わ れ ら は 主 の も の 主 に あ り て い く  
 わ れ ら は 主 の も の 主 を の み あ い す

カ660

かみともにもいまして

♩=80



1. かみともにもいまして ゆくみちをまもり
2. あれのをゆくとときも あらしふくとときも
3. みかどにいるひまで いくつしみひろき



あめのみかてもて ちからをあたませ  
 ゆくてをしめして たえずみちびきませ  
 みつばさのかげに たえずはぐくみませ

おりかえし

またあーうひまでーまたあうひーまーで

かみのーまもりーながみをはなれざれ

カ445

世を去る友

♩=63



1. よをさるともーをばかえりみたまえ
2. あいのみあるーじよかなしきわかれ
3. 主にたまわりーては主にめさるるぞ
4. とうときみかーげをたのみまつりて



しこそはかみーへのかどでなりせば  
 みむねとあおーぎてしのびてあらなん  
 こよなきみめーぐみおもうもなみだる  
 ゆきにしたまーをそみてにゆだぬる

♩ = 88

1. い つ く し み ふ か き と も な る イ エ ス は

2. い つ く し み ふ か き と も な る イ エ ス は

3. い つ く し み ふ か き と も な る イ エ ス は

つ み と が う れ い を と り さ り た も う

わ れ ら の よ わ き を し り て あ わ れ む  
か わ ら ぬ あ い も て み ち び き た も う

こ こ ろ の な げ き を つ つ ま ず の べ て

な や み か な し み に し ず め る と き も  
よ の と も わ れ ら を す て さ る と き も

な ど か は お ろ さ ぬ お え る お も に を アーメン

い の り に こ た え て な ぐ さ め た ま わ ん  
い の り に こ た え て い た わ り た ま わ ん

サルヴェ・レジナ Salve Regina



Sál-ve Re-gí-na, \* Má-ter mi-se-ri-cór-di-æ, ví-ta,  
 サルヴェ レジナ ▲ マテル ミセリ コルディエ ヴィタ  
 めでたし 元后よ、 あわれみ深きおん母よ、 われらの命、



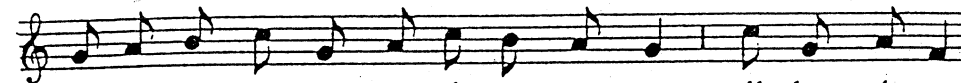
dul-ce-do et spes nó-stra, sal-ve. Ad te cla-má-mus,  
 ドウチェド エト スペス ノストラ サルヴェ ア テ クラ マ ムス  
 なぐさめ 及び 希望よ、 めでたし。 おん身に われら叫ぶなり、



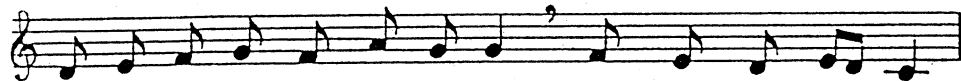
éx-su-les, fí-li-i Hé-væ. Ad te su-spi-rá-mus,  
 エクス ス レス ヴィ リイ ヘ ヴェ ア テ ス スピ ラ ムス  
 しまながしの身 エワの子(われら)は。 おん身を われら仰ぎ望む、



ge-mén-tes et flén-tes in hac la-cri-ma-rum val-le.  
 ッエ メン テス エト フレン テス イン ハク ラ ッリ マ ル ヴァ レ  
 なげき 泣くなり、 この 涙 の 谷 に。



E-ja er-go, ad-vo-cá-ta no-stra, il-los tú-os  
 エ ヤ エン ゴ ア ヴォ カ タ ノ ストラ イ ロ ス ト ウ オ ス  
 い さ われらの代願者よ、 おん身の



mi-se-ri-cór-des ó-cu-los ad nos con-vér-te  
 ミ セリ コル デス オ ク ロス ア ノ ス コ ヴ ェ ン テ  
 あわれみ深き おん目を われらに 注ぎたまえ



Et Je-sum, be-ne-díc-tum fruc-tum vén-tris tú-i,  
 エト イエ ス ム ベ ネ ディ ク ト ム フ ル ク ト ム ヴ ェ ン ト リ ス ト ウ イ  
 また イエズス おん身の体なる祝せられしおん子(イエズス)を

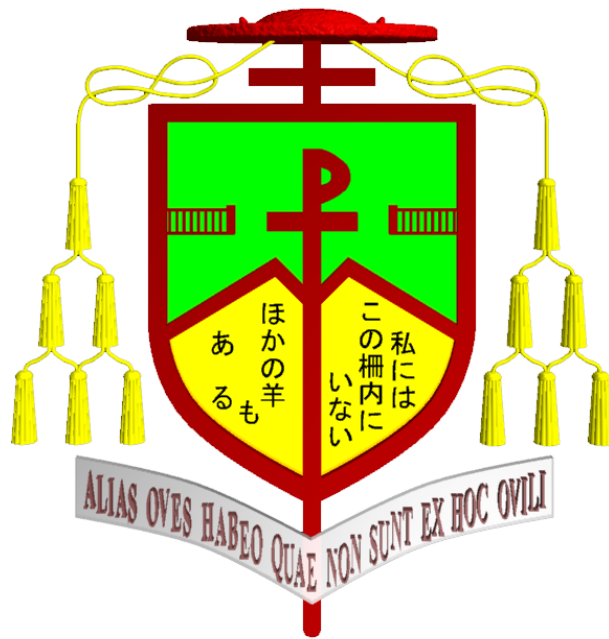


nó-bis post hoc ex-sí-li-um o-stén-de. O cle-mens,  
 ノビス ポスト ホク エクス イ リ ウ ム オ ス テ ン デ オ ク レ メ ン ス  
 われらに しまながしの終わらん後 示したまえ おお 寛容、



o pí-a, o dul-cis Vir-go Ma-rí-a.  
 オ ピ ア オ ドウチェ ス ヴィ ギ ム ゴ マ リ ア  
 おお 仁慈、 おお 甘美なる 童貞 マリアよ。

Peter Takaaki Hirayama



1970 — 2000

Catholic Diocese of OITA